

令和2年度

事業計画書



一般財団法人 札幌市スポーツ協会

I 事業方針

さっぽろ健康スポーツ財団は、令和2年4月に札幌市体育協会と統合し、名称を一般財団法人札幌市スポーツ協会に変更いたします。

統合に伴い、札幌市におけるスポーツ団体の総括や競技力の向上・普及促進、国際的なスポーツイベントの誘致・開催支援などの事業へ取り組むこととなり、札幌市のスポーツ行政の一翼を担う組織として、その機能と役割はこれまで以上に重要となります。

そのため、令和2年度は統合のメリットを効果的に活用し、札幌市が掲げる「スポーツ施設の戦略的活用構想」の実現に向けて、各施設における相互連携の強化を図り、「スポーツクラブ事業」や2030年冬季オリンピック・パラリンピックの札幌開催を見据えた「ジュニアアスリートの発掘・育成事業」に着手し、すそ野の拡大からトップアスリートの育成までの一体的なスポーツ推進を図ります。

また、指定期間が3年目となる管理施設の運営においては、施設の設置目的や「札幌市スポーツ推進計画」、「健康さっぽろ21（第二次）」などの行政施策、社会を取り巻く環境の変化、お客様からのご意見などを踏まえ、施設が有する機能や効用を最大限に発揮するとともに、市民サービスの向上を図るため、各指定管理グループで定める「市民の福祉の増進と公平な施設利用の保持」や「安全・安心な施設運営と快適な環境の整備」をはじめとする8つの基本方針に基づく取り組みを継続的に推進することで、これまで以上に、スポーツと健康を融合した事業活動領域のさらなる拡充を図り、当協会の経営理念である「私たちは、笑顔あふれる未来に貢献します」の実現に向けて邁進します。

Ⅱ 事業計画

1 施設の管理運営事業／指定管理事業

札幌市から指定管理者として指定を受けている施設の管理運営を行い、施設の効用を最大限に発揮しサービスの向上を図るとともに、各施設の設置目的を達成するため、「スポーツの普及振興」、「健康づくり活動の支援」、「スポーツ・文化活動を通じた国際交流事業」を推進する。

(1) 札幌市体育施設の指定管理

総括管理運営業務、施設・設備等の維持管理に関する業務、施設の利用に関する業務、管理運営業務に付随する業務

ア 札幌市体育館グループ（13 施設）

北区体育館、東区体育館^{※1}、白石区体育館、厚別区体育館、清田区体育館・温水プール^{※1}、豊平区体育館、南区体育館、西区体育館・温水プール、手稲区体育館、北ガスアリーナ札幌 46、中島体育センター、宮の沢屋内競技場、白旗山競技場

※1 札幌市による保全改修工事のため、東区体育館（5月～12月）清田区体育館・温水プール（6月～3月）が長期休館予定。

イ 札幌市温水プールグループ（6 施設）

東温水プール、白石温水プール、厚別温水プール、豊平公園温水プール、手稲曙温水プール、平岸プール

ウ 札幌市美香保体育館（1 施設）

エ 札幌市スケート施設グループ（4 施設）

月寒体育館、月寒屋外競技場、星置スケート場、どうぎんカーリングスタジアム

オ 札幌市屋外競技場施設グループ（4 施設）

円山総合運動場、麻生球場、厚別公園、平岸庭球場

カ 札幌市スポーツ交流施設（1 施設）^{※2}

※2 札幌市による保全改修工事のため、4月～1月に長期休館予定。

(2) 札幌市健康づくりセンターの指定管理

総括管理運営業務、施設・設備等の維持管理に関する業務、健康増進事業等の業務、施設の利用に関する業務、管理運営業務に付随する業務

中央健康づくりセンター、東健康づくりセンター、西健康づくりセンター（3 施設）

(3) 札幌国際交流館の指定管理

総括管理運営業務、施設・設備等の維持管理に関する業務、国際交流事業等の業務、施設の利用に関する業務、管理運営業務に付随する業務

札幌国際交流館（1 施設）

2 学校施設の開放事業／受託事業

札幌市内の学校施設を開放し、市民のスポーツ・文化活動を支援する。

(1) センター管理校

体育館開放（169 校）、グラウンド開放（32 校）、格技室開放（17 校）、文化活動練習会場学校開

- 放（16校）
- (2) 自主管理校
体育館開放（109校）、グラウンド開放（2校）、テニス開放（1校）
- (3) プール開放（199校）

3 地域スポーツ普及振興事業

(1) スポーツ教室事業／自主事業

スポーツ教室事業（6,100事業 83,600人）

体育・スポーツ施設において、技術の向上や、健康・体力づくりを目的とし、競技団体から推薦された指導員やインストラクター、当協会指導員により幅広い世代に対応した参加しやすい教室事業を開催する。継続的な運動の機会を提供する一般事業のほか、協会独自の取り組みによる高等教育機関・専門機関・地元プロスポーツチームと連携した専門性の高いプログラムの開発や、地域のニーズに応じた短期、通年型、少人数制、文化活動など幅広い教室を実施する。

また、札幌市の気候を活かしたウインタースポーツ活性化のための教室（100事業 6,000人）や、学校体育施設を利用した教室（7事業 100人）を実施する。

なお、市民が札幌市のスポーツ施設を横断的に利用し、これまで以上に気軽なスポーツ実践の機会が提供できるよう、多様目体験型の『D0! スポKIDS』（5事業 150人）を実施するなど、事業体系の見直しを図り、札幌市全域のスポーツクラブ事業の創出を目指す。

(2) スポーツ大会、スポーツイベント事業（150事業 25,900人）／自主事業

体育・スポーツ施設において、「さっぽろスポーツDAY」や「スポーツの日」の無料開放をはじめ、地域のスポーツ活動の支援となる大会、イベント事業を開催する。

また、参加者の交流と継続意欲を高めることを目的に、スポーツ教室受講者を対象とした大会や、供用時間外に行う朝野球大会、スポーツナイトリーグなど、複数の管理施設合同の事業（13事業 2,700人）、ウインターレクリエーション活性化のための大会、イベント（7事業 900人）を実施する。

(3) スポーツキャラバン事業／自主事業

町内会、PTAや企業などが行うスポーツ・健康づくり活動の促進を目的に指導者の派遣、スポーツ用具の貸し出しなどを行う。（19事業 1,600人）

(4) ウインタースポーツ塾（720人）／受託事業

市内在住の小学生を対象に、カーリングやクロスカントリースキーなどの体験会を開催し、幅広くウインタースポーツに親しむきっかけをつくとともに、少年団の団員獲得に向けた橋渡し等を行い競技人口の拡大を図る。

(5) 歩くスキー常設コース事業（白旗山 1,600人、中島公園 6,000人）／受託事業

冬季間、歩くスキーの常設コースを白旗山競技場と中島公園に設置・管理するとともに、中島公園でスキー用具の無料貸し出しを行う。

(6) ウォーキングステーション事業（14コース 800人）／自主事業

管理施設をスタート・ゴール地点とした、国際市民スポーツ連盟（IWV）のイヤールウンドコースを設置し、ウォーキングの普及を図る。

4 健康・体力づくり相談事業

(1) 健康増進・運動指導事業（健康づくりセンター）／指定管理事業

ア 健康増進・健診事業（8事業 6,800人）

中央健康づくりセンターにおいて、健康状態の把握に必要な運動負荷心電図検査を含む医学的検査と体力測定及びこれに基づく生活・栄養・運動などの総合指導プログラムを提供する「健康度測定」並びに受診機会の少ない18歳～39歳の女性を対象に骨粗しょう症検査を含む健康診断「女性のフレッシュ健診」を実施する。

また、保健師、管理栄養士、理学療法士による各種相談事業を行う。

イ 運動指導事業（63事業 61,100人）

市民の健康づくり活動の実践の場として健康増進を図るため、運動フロアにて運動機器の利用指導や「エアロビクス」「筋トレ」などの自由参加プログラム、「ウォーキング講習」、健康度測定受診者などへの個別運動指導を行う。

また、各区保健センター主催の生活習慣病予防教室などの健康づくりに関する事業に運動指導員を派遣し、運動の実践指導を行う。

(2) 健診・指導事業／受託事業

ア 健診事業（3事業 380人）

中央健康づくりセンターにおいて、各保険者が行う「特定健康診査」のほか、受診希望者に対して「大腸がん検診」及び「緊急肝炎ウィルス検査」を実施する。

イ 指導業務（7事業 170人）

国保加入者で特定健康診査の結果により「特定保健指導（積極的支援・動機づけ支援）」の対象となった方に、生活習慣の改善を目的に保健・栄養・運動指導による支援を行う。

また、国保加入の特定保健指導参加者で「運動お試し券」を持参した方に、運動の目安や運動機器の操作方法などの個別運動指導を実施する。

(3) 健康づくり活動の支援事業など（459事業 11,200人）／自主事業

健康づくりセンターにおいて、市民を対象に健康・体力づくりをはじめ、生活習慣病や膝痛・腰痛の予防などを目的とした教室や健康づくり活動に対する動機づけとなる講習などを行う。

また、地域団体等が実施する健康づくりに関する講座へ健康運動指導士、理学療法士などを派遣し、実技指導や健康講座などを実施する。その他、健康度測定受診者対象のオプション検査等の実施や運動指導従事者等を対象とした研修会を開催する。

5 国際交流の推進事業

(1) 国際交流事業（27事業 4,200人）／指定管理事業

札幌国際交流館において、市民と外国人がスポーツ・文化活動などを通じて相互理解及び親善を深め、国際交流を推進するため、JICAや公益財団法人札幌国際プラザとの共催で「世界ふれあいひろば」や留学生のスポーツ交流会などを実施する。

(2) スポーツ教室事業等（300事業 3,400人）／自主事業

技術の向上や、健康・体力づくりを目的とし、競技団体から推薦された指導員やインストラクター、当協会指導員により教室事業を開催し、継続的な運動の機会を提供する。

6 スポーツ大会・イベントの開催

(1) 札幌市民スポーツ大会の開催

広く市民の間にスポーツの普及・振興・発展を図り、健康の維持増進と文化生活的向上に資することを目的に実施する。

ア 第61回札幌市民スポーツ大会総合開会式

開催日：5月8日（金）19：00

会場：札幌国際交流館

イ 市民スポーツ大会開催経費補助事業

加盟団体が実施する市民体育大会開催経費の一部を補助する。53競技を実施予定。

(2) 第43回北海道を歩こう

札幌市立真駒内中学校をスタートし、真駒内カントリークラブまでの10kmと、支笏湖ポロピナイまでの33kmを歩く初夏の北海道を満喫するウォーキングイベント。

開催日：5月24日（日）

会場：真駒内中学校～真駒内カントリークラブ～支笏湖ポロピナイ

種目：33km、10km

参加者数：1,800人

(3) 6時間リレーマラソン2020in札幌ドーム

1周2kmの札幌ドーム特設コースをチームでたすきをつなぎながら走るリレーマラソン。

開催日：9月12日（土）

会場：札幌ドーム

種目：6時間リレーマラソン、42.195kmリレーマラソン

参加者数：10,000人

(4) 第45回札幌マラソン

ハーフマラソン及び10kmは日本陸連公認コース。

開催日：10月11日（日）予定

会場：真駒内セキスイハイムスタジアム

種目：ハーフマラソン、10km、5km、中学生、小学生、ファンペア、車イス

参加者数：14,500人

(5) 第41回札幌国際スキーマラソン大会

世界的なクロスカントリースキーの普及を図る連合体「ワールドロペット」に加盟する国内唯一の大会。毎年、海外からも多くの参加がある。

開催日：2月7日（日）

会場：札幌ドーム、旧西岡オリンピック記念競技場を含む周辺コース

種目：スキーマラソン50km・25km、歩くスキー11km・5km・3km、キッズチャレンジ100m

参加者数：1,800人

(6) スポーツ大会・イベントとの連携・協力事業

ア 第14回札幌トリムマラソン（6月14日）

イ 2020札幌30K（7月中旬）

ウ ほっかいどう大運動会2021（2月中旬）

- エ さっぽろスノースポーツフェスタ（2月中旬）
- オ 明日のアスリート研究所（アスアスラボ）（毎月1回開催） 他
- (7) 東京2020オリンピック・パラリンピックの開催に向けた協力
 - ア 札幌市と連携して、東京2020オリンピックのマラソン・競歩競技への運営協力を行う。
 - イ 札幌市と連携して、各区体育館などで東京2020オリンピック・パラリンピック開催に向けた体験会の実施など機運醸成イベントを実施する。

7 スポーツの競技力向上及び普及促進に関する事業

- (1) 加盟団体及びスポーツ団体等に対する組織強化、指導並びに育成に関する事業
 - ア 加盟競技団体への指導・助言など
 - 加盟団体代表者・事務担当者会議を開催し、各種事務処理の説明や意見交換などを行い、各加盟団体相互の連携と融和を図るとともに、加盟競技団体などの要請に応じて、適時、各種大会運営及び組織体制強化充実等についての指導・助言を行う。
 - また、加盟団体などが行う事業に対し、要請に応じて後援・協力を行う。
 - イ 公益財団法人北海道スポーツ協会との連絡調整
 - 当協会役員及び会長が、北海道スポーツ協会の副会長、評議員及び理事に就任するなどし、北海道内のスポーツ団体との連携及び融和を図る。
- (2) 競技力向上・普及促進事業
 - 加盟競技団体が、選手強化・育成や指導者の資質向上及び各競技の普及促進を図ることを目的に実施する事業経費の一部補助等を行う。
 - ア 競技力向上指導者講習会
 - 開催日：10～12月予定
 - イ 競技力向上事業
 - (7) 加盟団体が行う選手強化育成事業への経費補助（31団体 56事業 7,090人）
 - (4) 加盟団体が行う指導者育成事業への経費補助（7団体 13事業 1,030人）
 - ウ 普及促進事業
 - (7) 加盟団体が行う普及促進講習会及び研修会開催事業への経費補助（13団体 25事業 2,050人）
 - (4) 加盟団体が行うスポーツ教室等開催事業への経費補助（11団体 13事業 1,650人）
- (3) さっぽろアスリートサポート事業
 - 次世代のトップアスリートを育成するため、札幌のスポーツ活動の充実と発展に寄与する団体及び個人の活動に対し、大会、強化合宿等の参加経費や指導者の育成に関する自己負担分を助成する。
 - ア 市民スポーツ振興事業（20団体 20事業）
 - 市民が広く継続的にスポーツに親しむことのできる事業を行う団体に対し助成する。
 - イ スポーツ大会出場及び強化合宿参加補助事業（70団体 470事業）
 - 道外で開催される国際スポーツ大会、全国規模の青少年スポーツ大会及び合宿練習への参加に対し助成する。
 - ウ 青少年冬季スポーツ振興事業（50団体 50事業）

札幌市スポーツ少年団又は青少年を対象とする冬季スポーツ団体が実施する普及・育成事業を行う団体に対し助成する。

(4) ジュニアアスリート発掘・育成事業

2030年冬季オリンピック・パラリンピックの札幌開催を見据え、次世代のオリンピック選手及びトップアスリートの輩出を目指したジュニア世代の発掘・育成事業を行う。

ア 発掘事業（1事業 100人）

スポーツ施設の利用者や少年団に所属する子どもを対象に、運動に対する適性テストを行い、将来有望な子どもたちを見出し、育成事業の参加につなげる。

イ 育成事業（5競技 80人）

冬季5種目（スキージャンプ、スノーボード、カーリング、フリースタイルスキー、ノルディック複合）の競技団体と連携し、2030年までの長期的な展望に立って、日常的な強化練習や国内・海外合宿などの支援を行うことで、次世代のオリンピック選手及びトップアスリートの育成を行う。

8 スポーツ少年団の普及及び育成に関する事業

スポーツ少年団活動を通じて、子どもたちの健全な心身の発育発達に資するために、札幌市スポーツ少年団を設置し、各種事業による普及と組織育成を行う。

(1) 派遣事業（10事業 団体9団、個人25人）

日本スポーツ少年団及び北海道スポーツ少年団が主催する少年大会、リーダースクール並びに全道及び全国種目別交流大会への派遣を行う。

(2) リーダー育成事業（1事業 30人）

札幌市スポーツ少年団リーダー養成研修会の開催（12月5日予定）

(3) 各種目交流大会（11種目 18事業 11,600人）

軟式野球、サッカー、剣道、ソフトテニス、空手道、ミニバスケットボール、バドミントン、少林寺拳法、冬季スポーツ、綱引、バレーボール競技の交流大会の開催

(4) 指導者育成事業（2事業 150人）

ア スタートコーチ養成講習会の開催（11月14日予定）

イ 指導者・母集団研修会の開催（2月6日予定）

(5) 表彰

札幌市優良青少年及び青少年育成表彰を実施する。

9 さっぽろグローバルスポーツコミッション事務局機能の移管に伴う協同事業

さっぽろグローバルスポーツコミッションの事務局機能を公益財団法人札幌国際プラザから移管するとともに、同組織の委員及び戦略委員に就任し、国際的及び全国的な規模で行われるスポーツ事業に関する協力及び支援を行う。

(1) 大会・合宿誘致及びスポーツツーリズムの推進事業

スポーツアコードをはじめとするスポーツ関連の国際会議等におけるプロモーションや海外からの合宿受入れ支援、視察対応を行うとともに、スキーツーリズムなどのスポーツツーリズムの推進を支援する。

(2) スポーツボランティアの啓発普及事業

スマイルサポーターズの登録管理とスポーツイベント運営における選手・観客の誘導、通訳などのボランティアの活動機会及び情報の提供を行う。

10 障がい者スポーツの促進に関する事業

(1) 札幌市障がい者スポーツ普及促進協議会への参画

札幌市が平成 29 年度に策定した「札幌市障がい者スポーツ普及促進プログラム」に基づき、様々な取り組みを進めていくための協議会に委員の就任及び事務局への協力を行う。

(2) 各区体育館における障がい者スポーツ体験会／受託事業（200 人）

施設を利用しながら障がい者スポーツも気軽に体験できるよう、各区体育館で 1 回ずつ（全 10 回）体験会を実施する。

(3) 冬季障がい者スポーツ指導者養成事業／受託事業（40 人）

障がい者スポーツの中でも特に指導者が不足しているウインタースポーツに関して、養成講習会と指導の場となる体験会を実施する。

・シットスキー指導者養成講習会及び体験会の実施（中島公園）

・バイスキー指導者養成講習会及び体験会の実施（藤野野外スポーツ交流施設）

(4) 冬季障がい者スポーツ体験イベント事業／受託事業（500 人）

月寒体育館、月寒屋外競技場、どうぎんカーリングスタジアムが施設間同事業として実施する「雪に氷にふれよう！わくわくウインターフェスタ」において、冬季障がい者スポーツへの理解促進とすそ野の拡大を図るため、一般社団法人札幌市障がい者スポーツ協会をはじめとする関係団体と連携し、パラアイスホッケーや車いすカーリングなどの体験イベントを実施する。

11 地域コミュニティの活性化事業／自主事業（50 事業 18,700 人）

区役所、商店街組合、町内会などと連携して、地域活性化の活動・イベントに運営参画するとともに、施設近隣の住民を対象とした水上安全無料講習会などの啓発事業を実施する。

12 スポーツ及び健康づくりに関する調査研究及び情報提供

(1) 加盟団体情報の収集・提供

加盟団体の活動などに関する情報を収集・提供する。

(2) イベント・教室などの募集情報の提供

各種媒体の活用により、健康・スポーツ及び国際交流に関する情報を積極的に発信し、施設の利用を促進する。

(3) 協会広報誌「ヘルス&スポーツライフ」の発行

施設の利用促進や市民へのスポーツ・健康づくり及び国際交流に関する情報を広く提供するため、広報誌「ヘルス&スポーツライフ」(Health&Sports Life：年 4 回、各 10,000 部)を発行する。

(4) 協会ホームページにおける情報の提供

統合に合わせた情報の集約化を図るとともに、年齢や障がいの有無などに関わらず、誰にとっても分かりやすく利用しやすいホームページの実現を目指し、ウェブアクセシビリティとユニバ

ーサルデザインの向上を図る。

(5) 医学的な調査研究及び分析並びに成果・情報の提供

健康づくりセンターにおいて、生活習慣病予防、介護予防事業など健康づくり関連事業の科学的効果に関する調査研究を行う。

(6) お客様満足度の調査並びに情報の提供

お客様へのアンケートにより施設利用の満足度等を調査する。また、意見、要望等を把握・分析するとともに、お客様への情報提供を行うことで各施設の課題の解決を図る。

13 物品販売・貸付及び飲食店業／自主事業

施設利用者に対する利便向上を目的に、売店・レストランや自動販売機を設置するとともに、コインロッカー・スポーツ用品の貸し出しを行う。

14 その他事業

(1) 関係団体との連携・協力事業

ア 「スポーツ・フォー・トゥモロー」コンソーシアム会員への登録

日本政府が推進するスポーツを通じ、世界のよりよい未来のために、スポーツの価値を伝え、オリンピック・パラリンピック・ムーブメントをあらゆる世代の人々に広げていく取り組みの一環として札幌国際スキーマラソン大会などを認定事業として登録するとともに、発展途上国へのスポーツ用品の提供により、同施策の拡大・促進に協力する。

イ 北海道歩くスキー協議会の運営

北海道内の歩くスキー、クロスカントリー14大会が加盟している同協議会の事務局を担い、大会相互の連携と発展を図る。

ウ スポーツボランティアの育成支援

スポーツイベントの活性化を図るため、NPO 法人日本スポーツボランティアネットワークに加盟し、スポーツボランティアを育成して活動を支援する。

エ 「事業連携包括協力協定」の締結

北翔大学との間で、学生が札幌マラソンなどの運営に携わる「事業連携包括協力協定」を継続し、スポーツイベントの活性化を促す。

オ スポーツ・運動指導者及び施設運営管理者の育成

公益財団法人日本体育施設協会及び順天堂大学などとの連携により、「公認体育施設運営士養成講習会」及び「スポーツ救急手当講習会プロバイダーコース」を開催し、健康・スポーツ施設の運営管理者及び指導者を育成する。

また、一般社団法人幼少年体育指導士会との共催により、「幼少年体育指導士認定講座」を開催し、幼少年の発育発達をスポーツ・体育分野において支える、専門的知識・技能を備える人材養成・認定のための講座開催に協力する。

カ プロスポーツへの貢献事業

札幌市を拠点として活動する北海道コンサドーレ札幌、エスポラーダ北海道、レバンガ北海道、サフィールヴァ北海道の活動を支援するとともに、協働イベントの開催を通じて地域スポーツの振興と市民との触れ合いの場の創出を図る。

キ 職員の派遣、役員就任など

公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会へ職員を派遣し、団体の活動を支援する。また、競技団体等が主催する健康・スポーツ事業への役員就任や後援などを行い、スポーツの普及振興と健康づくり活動を支援する。

(2) 社会貢献及び環境美化活動

ア 環境保全活動

地域の関係団体と連携した河川敷清掃、植栽などの環境美化活動の実施、ペットボトルキャップの回収による世界の貧困に苦しむ子どもたちへの支援活動の実施など、環境保全活動を積極的に行う。また、次世代を担う子どもたちに環境問題の現状と対策を伝えていくため、札幌市の環境教育へのクリック募金や札幌市環境プラザの環境教育プログラムに協力する。

イ 地域防犯活動

札幌市の地域安全サポーターズとして、こども110番の店、防犯パトロール、スクールガードなどの地域の防犯・安全活動を行い、安全・安心で結ばれる優しいまちづくりに協力する。

ウ 地域への安全なスポーツ環境の提供

さっぽろ救急サポーターとして、各施設に応急手当のできる職員を配置し、事故発生時に迅速に対応できる体制を整え、救命率の向上に寄与する。また、水泳安全講習会や水上安全講習会などを開催し、地域の安全・安心なスポーツ活動の実施に協力する。

エ インターンシップなどの推進

インターンシップや職場体験学習を積極的に受け入れ、学生の職業観の醸成と社会人として自主的に考え行動できる人材の育成を支援する。

オ 障がい者就労施設などへの協力

障がい者就労施設（障がい者支援施設、就労継続支援B型事業所など）から物品購入、印刷発注などを行い、地域の福祉施策へ積極的に協力する。

カ サッポロスマイルパートナーズへの会員登録

「魅力都市さっぽろ」を広く発信し、「笑顔になれる街」の実現に向けて、札幌市のシティプロモート活動に協力する。

キ さぽーとほっと基金への寄附

町内会・ボランティア団体・NPOなどが行うまちづくり活動を支える札幌市の取り組みに賛同し、各施設に設置している自動販売機の売上げの一部を同基金へ寄附する。

ク 募金活動

社会貢献や地域支援などを目的とした関係機関との連携支援として、盲導犬育成支援募金及び胆振東部地震をはじめとする地震により被災された方々のための支援募金に協力する。

ケ 献血への協力

日本赤十字社の「献血サポーター」として登録し、献血へ積極的に参加することを全職員に呼びかけ、医療に必要な血液の安定的な確保に協力する。

(収支見込)

収入予定 4, 347, 921, 000円

所要経費 4, 389, 402, 000円